

粕谷和夫観察日記。街路樹のハナミズキの実が美味しそうな色に熟れてきました。そこに、早速ムクドリがやって来て美味しそうに食べ始めました。私は本日から早生蜜柑を食べることにしました。(会長さんの健康の秘訣のようです)

紅葉台



新聞

第107号

2023年

12月9日

発行人：関谷 孝

地元探鳥会 いのはなトンネル～御霊谷川

10月25日(水)9時高尾駅北口集合12名参加。思いのほか涼しい曇り日。甲州街道沿いにある小さなトンネルをくぐると案内川の澄み切った川と滝(取水堰)があります。南浅川にそそぐ澄んだ水が煌々と流れていました。これまで通り過ぎるだけでしたが、初めて見学しました。小仏川沿いは早春の草花が咲く「どんだん淵」で有名です。この日は、杉山さん(散歩マップで有名)をはじめ地域のボランティアの人たちが草刈りをしていました。地域の人たちが山野草を守り、人が歩かないよう柵を作っています。杉山さんから自然保護活動の話の話を聞きました。



小仏川の澄んだ川からキセキレイが飛び立ち岩場に止まり尾羽を振っています。特徴ある黄色の羽が綺麗でした。付近ではイソヒヨドリ、ジョウビタキが現れ、林道沿いにはコゲラ、エナガ、メジロが木々の間から見えました。蛇滝で休憩。すぐ近くのいのはなトンネルでは、列車銃撃の碑に思いをはせ哀悼の意を捧げました。



中央本線を渡り、中央高速道路沿いの山道を歩くと小仏川と御霊谷川の分水嶺があります。誰も歩かないような山道で思いがけずアサギマダラに数匹出会いました。今いるのはキジョランに産卵をするためとのこと。御霊谷橋の周りは、神社、水田や畑がありのどかな里山風景です。この辺りは、夏にホタルが出るようです。秋の日は、あちこちで鈴なりの柿の実が一際目立っていました。途中でホオジロ、ヒヨドリ、ガビチョウ、キジバト、スズメ、モズを発見しました。



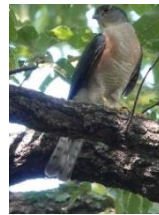
丘の上のオオモクゲンジの大木の実が美しく人目を引きました。宮の前の交差点で一人ずつ鳥合わせ。全部で18種。印象に残ったベストは、ジョウビタキとキセキレイでした。

全体を通して、甲州街道沿いの植物やいのはなトンネルの歴史、地域の人たちが守る自然散策道、中央道沿いの普段は人が歩かないような道、里山の風景等盛りだくさんの探鳥会でした。高尾駅に戻るまでたくさん歩きました!

野鳥に興味のある方は、「八王子カワセミ会」のHPを覗いてみてください。探鳥会に興味をもった方や一緒に活動したい方は、関谷まで声を掛けてください。月に一度の公開探鳥会があります。楽しい仲間が出来ますよ。(文責 関谷)

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

粕谷和夫の観察日記



縄張りの境界と思われるところで威嚇しあうカワセミ達です。上の写真で「はしご」の上と下に各1羽が写っています。下のカワセミが首を長く伸ばして上のカワセミを威嚇しています。下の写真は、威嚇し合うカワセミたちの下にダイサギがやってきた場面です。まるでダイサギが仲裁に来たようで、上のカワセミが飛び去りました。

カラスノゴマです。八王子・湯殿川の道端に咲いていました。細くてひよろっとしている莖に可憐で下向きの黄色い花をつける野草で、他の野草と一線を画している感じがします。葉の後ろにピンボケですが、細長い実が写っています。この実の中に胡麻のような種が入っています。久しぶりにこの花に出会えました。

ツミです。10月の八王子・宇津貫丘陵地の野鳥定期カウント中、宇津貫公園の雑木林の中にいました。「オオタカ・ハイタカ、ツミ」のオオタカの仲間3種の中で最も小型のタカです。最近公園、街路樹や住宅地付近の緑地などで営巣しています。メスとオスで大きさが異なり、タカ狩りの盛んであった時代に狙う小鳥の種類が違ったため区別する必要があり、オスとメスで名前が異なっていて、メスがツミ、オスがエッサイと呼ばれていたらしいです。この写真はエッサイです。

昆虫食のムクドリです。秋のこの時期は芋虫が作物の葉を食べて大きくなってきます。それを食べてくれるムクドリです。下の写真は大きな芋虫を食べるために四苦八苦しているムクドリの様子です。

♥ムクドリというと地面に落ちている種を食べているイメージがありますが、日ごろ食べられていない毛虫を食べあぐねている様子も面白いです。

ノゴマのオスです。八王子長池公園で10月の野鳥定期カウントをしている時に出会いました。のどの赤い色が日の丸のようだとも言われています。春から夏に北海道で営巣し、秋に南の国に帰る渡り鳥です。渡りの途中に長池公園に紛れ込んだと思われそうですが、このような珍しい鳥に出会えてびっくりです。

10月28日カワセミ会ジュニアクラブの野鳥観察会。浅川の川原にキジが突如出てきて、子供たちが大喜びをしました。キジの鳴き声と姿は春に目立ちますが、秋は草株の中に紛れて目立ちません。5羽のグループが姿を表しました。この写真にはオスが2羽写っています。